

氏名： 近藤 恵
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系
職名： 助教
学位： 博士（理学）（1995 東京大学）
専門分野： 自然人類学
E-mail： kondo.megumi@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

人類進化／自然人類学／年代測定／化石骨／ジャワ原人

Human evolution / Physical anthropology / Dating / Fossil bone / The Java man

◆研究内容 / Research Pursuits

1. 化石骨の年代測定学・年代判定学：化石骨試料に含有される少量・微量元素を調べることで、それらの年代測定または間接的な相対年代判定を行う。

2. ジャワ原人の編年および変遷史：インドネシアのジャワ原人に関する遺跡の地質学的調査を行い、各種試料の年代分析をすることにより、化石骨の編年を行う。またそれにより、人類進化の様相を考察する。

3. 日本の旧石器時代の人類の編年および変遷史：日本の旧石器時代の人類とされる化石骨について、年代測定または年代判定を行い、それらの編年を行うことにより、日本列島の人類の由来について考察する。

4. 放射性炭素年代測定における分析試料の前処理：化石骨試料の化学的処理について再検討し、高精度な分析を目指す。

1. Dating of fossil bones ; Measure contents of minor or trace elements contained in fossil bones to determine the absolute age or discriminate the fossil bearing layers.

2. Chronology and palaeoanthropology of the Indonesian fossil hominids ; Examine the history of the Java man by geological survey of the site and chronological analyses of several kinds of specimen.

3. Chronology and palaeoanthropology of the Japanese Palaeolithic hominids ; Determine the age of the Japanese "Palaeolithic" hominids by absolute or relative dating to examine the origin of hominids of the Japanese archipelago.

4. Improvement of the pretreatment of fossil bone samples for carbon 14 dating ; Aim for much higher accuracy of dating.

◆教育内容 / Educational Pursuits

人間の形態を見る目と表現する方法を修得する目的で、「人体計測学演習」を担当する。具体的には人体寸法計測ができるようになり、計測した人体寸法データの処理ができるようになることを目標とした演習である。解剖学的特徴点の同定のしかた、それを理解するために必用な基礎的な解剖学の知識、被験者に対する配慮のしかた、マルチン式人体計測器の取り扱い方、計測結果の取り扱い方、計測誤差の評価のしかたについて演習する。計測者として被験者への接し方、補助者としてやるべきことについても教育する。

◆研究計画

ジャワ原人関連の資料について年代分析を進めることにより、アジアに留まらず、人類進化の様相がより明確になっていくと期待される。また、特に日本の資料については、従来よりも精度の高い分析が可能になってきたことにより、試料の処理方法がより重要になっていることから、当研究室で進めている前処理法の研究がさらに重要視されつつある。より精密な年代分析を必要とする資料を取り扱っている研究者と共同研究ができれば、当研究室での成果が生かせると考える。

◆メッセージ

自然界において「ヒト」という生物はどのように形成されてきたのか、そしてどのような特性を持つに至ったか、など、科学的に考えてみたい方々に、興味深い研究分野です。自分自身がどのような生物であるか、理解を深めてみませんか。